

仕事や活動をとおして
「生きがいを感じるまちづくり」

産業の振興によって雇用拡大をはかり、各々がやりがいのある仕事や活動の場を持てて、機能的で効率的な都市基盤の整備を目指します。



HAPPINESS
KUMAMOTO

仕事や活動をとおして
「生きがいを感じるまちづくり」

中小企業
CHUSHÔ-KIGYÔ

本市の中小企業は、全事業所の約99%、従業員で80%以上を占めており、本市地域経済の活性化を図る上で中小企業の振興は重要な課題であります。

しかしながら、情報化・国際化の進展、規制緩和等を背景に中小企業を取り巻く環境は産業構造の変化と

いう大きな変革の時期を迎えています。

このため、経営基盤の弱い中小企業の経営力の強化、人材の育成、マーケティング機能の強化、さらには技術開発力の向上などの支援策が必要となっています。

そこで本市では、中小企業が創意

と活力を持って企業活動に取り組めるよう①経営の高度化支援、②リーディング産業の創造と再構築、③新分野開拓への支援、④人材の確保・育成、⑤産業基盤の整備促進、⑥資金調達円滑化という6つの重点施策にそって各種事業を積極的に展開しています。



川尻桶の製作風景

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

魅力ある商店街

MIRYOKU ARU SHÔTENGAI

中心商業地の振興

本市の上通・下通・新市街等の中心商業地域は「熊本の顔」となる繁華街であり、県内最大の広域商業拠点でもあります。今、多くの市場が成熟期を迎えているといわれていますが、市民のニーズもモノの豊かさから、心の豊かさへと変化してきました。これにともない商店街等においてもアメニティ性の高い環境の整備や快適な生活空間の創出等の機能が要求されてきています。そこで関係機関や地元商店街と連携をとり

ながら、商店街の街路灯やカラー舗装等の共同施設の設置に対する助成を行い、商業環境の整備を推進しています。また、中心商業地のさらなる発展と関連産業の振興を目的としたファッションタウン構想の推進にも積極的に取り組み、商店街の魅力の向上を目指しています。

近隣商店街の振興

地区・近隣商店街は市民の日常生活に欠かせないものであり、地域コミュニティの核となる場でもあります。

また地域特性を活かしたまちづくりという観点からも、地区・近隣商店街の果たす役割は非常に大きいといえます。

そこで、商店街活性化のためのイベント開催補助等、ソフト事業に対する積極的な支援を行うとともに、健軍文化ホール、五福地域開発センター、くまもと工芸会館等、地域社会の交流・情報発信の拠点施設を整備し、地域経済の振興に取り組んでいます。



サンロード新市街

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

工業

KÔGYÔ

本市の工業は、その多くが中小企業であり、食品工業を中心に出版・印刷、金属製品、衣服、家具等都市生活と関連の深い工業が大きなウェイトを占めています。

したがって、この中小企業の活躍が地域経済の活性化を図るうえで重要な役割を担っています。

そこで、中小企業の振興を支援し、活力ある産業活動の展開を図るため次の施策を推進しています。

1. 経営力の強化

経営資源に限りのある中小工業を支援するため、地域のマーケティング情報・各種データベース情報の提供、経営相談・診断指導、経営セミナー等を実施しています。

また中小企業の共同化を推進するため、業界との共催事業、設備近代化及び組織化、高度化事業に対して支援をしています。

2. 地場リーディング工業の振興

本市において集積が高く他の産業との強い関連をもつ食品、出版・印刷産業を地場リーディング産業と位置づけ、起業化支援事業等を実施しています。

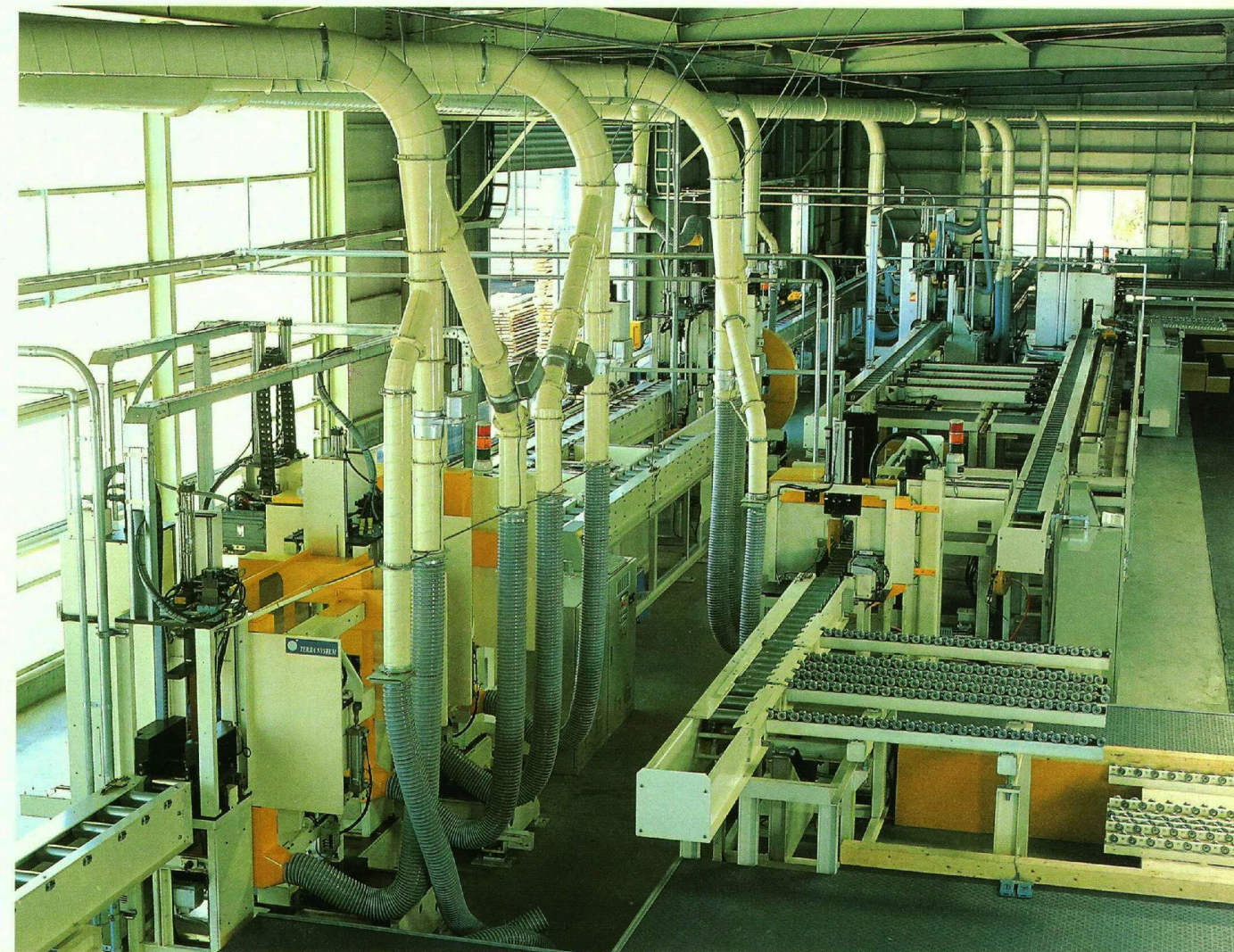
また、中小工業の振興には地場の

優れた製品を愛用してもらうことが重要であり、市民及び関係業界の方々に展示紹介をするフェアの開催や物産の振興事業等を実施しています。

3. 工業立地環境の整備

活力ある生産基盤の整備を目指して、周囲の環境と調和した生活者交流型食品工業団地「フードパル熊本」が平成9年11月にオープンしました。

今後も企業誘致に努め、工業立地環境の整備を進めます。



(協)熊本木材工業団地

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

流通・情報拠点

RYÛTSÛ・JYÔHÔ KYOTEN



流通業務団地

熊本流通業務団地

本市の卸売業、運輸業、倉庫業等の広域流通拠点施設として整備を進めていた流通業務団地は、平成4年9月に流通業務施設の建設が全て完了し、地域経済の活性化に大きな役割を果たすことが期待されています。

また、団地内には流通情報の発信拠点となる熊本市流通情報会館が平成元年4月にオープンし、経営研修等を通して企業経営の近代化、合理化を支援しています。

さらに、昭和62年に設立された第

三セクターである㈱熊本流通情報センターの事業等により、中小企業の情報化を積極的に支援しています。

熊本流通情報センター

熊本市は、昭和59年に通産省のニューメディア・コミュニティ構想のモデル地域に指定されました。

この構想は、大都市圏と地方の情報格差を是正し、全国的にバランスのとれた情報化や地域のニーズに対応した情報システムの構築と普及を目的としています。

そこで、この構想を推進するため

国・県・市・地元経済界等の出資により第三セクターとして㈱熊本流通情報センターが昭和62年に設立されました。

この熊本流通情報センターは、地元の卸・小売業を中心に「広域流通ネットワークシステム」の構築を推進しています。

現在、小売業と卸売業の間を結ぶ受発注オンラインシステムを中心に流通関連のシステム開発などの事業を展開しています。

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

雇用福祉

KOYÔ-FUKUSHI

ゆとりある勤労者生活を応援します

本市の雇用福祉対策は、人材の確保・定着、勤労者の技能技術の向上、福利厚生の実を主な事業として、勤労者の皆さんが豊かなライフワークを送ることができるような職場づくりのお手伝いをしています。

(人材の確保・定着)

若年労働者の確保・定着を図るため、近隣町・商工団体・企業とともに熊本雇用対策協議会を組織する一方、熊本市産業開発求人対策協議会等民間団体とともに人材の確保に努

めています。

また、中高年齢者雇用対策としては、熊本中高年齢労働者福祉センター（サンライフ熊本）や熊本市役所に相談窓口を設置しています。

(技能・技術の向上)

本市産業の発展を担う若年技能者・技術者等の人材育成機関として熊本市職業訓練センター、熊本職業訓練短期大学校、熊本市事業内高等職業訓練校の運営を支援しています。

(勤労者福祉の向上)

施設面では、勤労者の健康増進と文化・教養の向上を目的として設置された中央、北部勤労青少年ホーム、勤労婦人センター、熊本中高年齢労働者福祉センター（サンライフ熊本）、熊本勤労者体育センターがあり有効利用を図っています。

熊本市中小企業勤労者福祉共済制度は、平成11年度からサンライフ熊本で運営します。



パソコン教室

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

観光・コンベンション
KANKÔ・KONBENSYON



旧細川刑部邸

熊本城



立田自然公園（仰松軒）



水前寺成趣園



峠の茶屋公園



熊本市動植物園



フードバルくまもと

肥後54万石の城下町としての長い歴史と豊かな自然に恵まれた本市は、熊本城や水前寺公園など優れた観光資源を有し、さらに「国際観光モデル地区」にも指定されており、年間450万人を超える観光客が訪れています。

近年、自由時間の増大や生活意識の変化にともない、余暇活動に対する関心の高まりや観光ニーズの多様化に対応すべく、個性的で質の高い観光地づくりに努めています。

また、「国際会議観光都市」の認定を機に、地域経済の活性化につながるコンベンションの誘致活動にも積極的に取り組んでいます。

豊かな観光資源

豊かな水と緑に恵まれ歴史に彩られた本市には、日本三名城のひとつに数えられる「熊本城」をはじめ、風格漂う武家屋敷「旧細川刑部邸」、肥後藩主細川忠利により東海道五十三次を模して造られた回遊式庭園「水前寺成趣園」、細川ガラシャの眠

る「立田自然公園」、剣聖宮本武蔵が兵法五輪の書を著した「霊巖洞」など多くの歴史遺産があります。また夏目漱石、小泉八雲、徳富蘇峰・蘆花などの文人たちの足跡も残されています。さらに、平成9年11月にオープンした、食のテーマパーク「フードバルくまもと」では、食品の製造工程の見学や手づくり体験もでき、レストランと共に人気を集めています。

観光サービスの充実

観光施設への利便性を図るため、水前寺公園入口モニュメント整備や熊本城周遊バスの運行を実施しています。また、熊本城ではレディースガイドに加え、頼当御門にて武者姿の門衛が観光客をお迎えしています。新たに観光ボランティアガイドによる観光案内を実施しており、観光客の要望に応じて、人情味豊かに市内をご案内しています。

広域観光ルート

九州観光の一体的・発展を図るた

め、九州の主要都市と連携し国内及び海外からの観光客誘致に努めています。「九州横断ルート」、「九州縦断ルート」などの広域観光ルート協議会を通じて、九州観光モデルコースの紹介や本市の魅力を国内外にPRしています。

観光人づくり

ホテル・旅館・タクシー会社など観光関連産業に従事する経営者から第一線で活躍する社員を対象に、各業界ごとに人材育成・接客接遇等について研修を実施しています。

国際観光の振興

外国人観光客の誘致及び受入体制の整備充実を図るため、アジア諸国での観光展参加をはじめ海外向けパンフレットの製作、来能外国人向けの観光案内所や英文併記の案内板の設置、5ヵ国語対応の熊本城案内システム「武者ガイドくん」の導入など、国際交流都市づくりを進めています。



熊本城再発見!!

～お城が語る、昔の心、明日の道～

——くまとお城まつり——

時代行列

熊本城笹園を中心に「第三回くまとお城まつり」が、10月17日から11月3日まで開催され、最終日には戦国時代から明治に至るまでの熊本の歴史を再現した「時代行列」を行い、まつりのフィナーレを飾りました。

行列には、加藤清正は勿論のこと清正入国以前の戦国武将からなる甲冑武者行列や、細川藩の大名行列、肥後の城下町衆、横井小楠・夏目漱石など熊本ゆかりの人物からなる明治の群像、西南の役の官軍薩軍などが登場し、参加した市民ボランティア約500人がそれぞれの時代衣装に身を包み、上通から下通—サンロード新市街—熊本城までを練り歩く一大時代絵巻が繰り広げられ、沿道を埋めた多くの観客を魅了しました。

コンベンションの振興

本市では、恵まれた都市環境のもとコンベンション誘致の実効を図る目的で平成3年11月に財団法人熊本国際コンベンション協会を設立し、

平成6年には、国際会議観光都市としての認定も受け国内外の各種学会・大会等の誘致に積極的に取り組み観光コンベンション都市づくりを目指しています。



燃えるくまもと

火の国まつり

HINOKUNI FESTIVAL

熊本の夏を代表する祭として、全国的にも知られるようになった「火の国まつり」は毎年8月11日から13日まで市内各所で行われます。

熊本城一帯の夜市やパレード、目抜き通りでのおてもやん総踊り、音楽、催しなど若者から観光客まで楽しめるような試みがなされています。

本市でのコンベンションの開催件数は、毎年300件を超え、中でも特徴として医学関係とスポーツコンベンションが約5割を占めています。特に本年は、「くまもと未来国体」を

はじめ大規模な大会や多数の国際会議、全国大会等が熊本で開催されます。

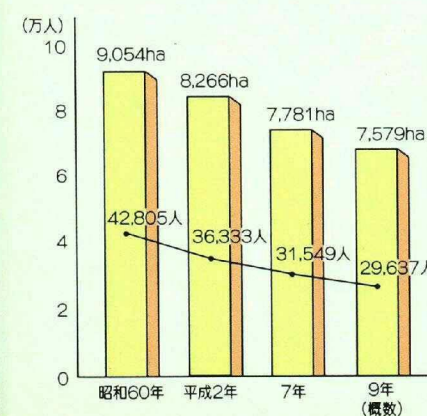
HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

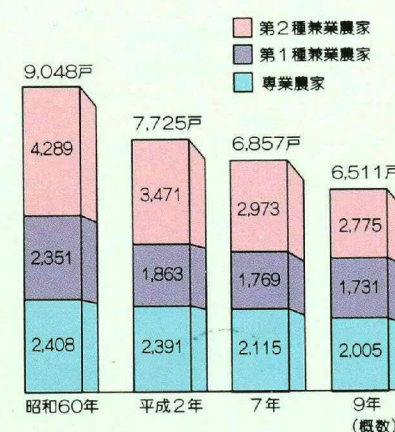
農林水産業

NÔRIN-SUISANGYÔ

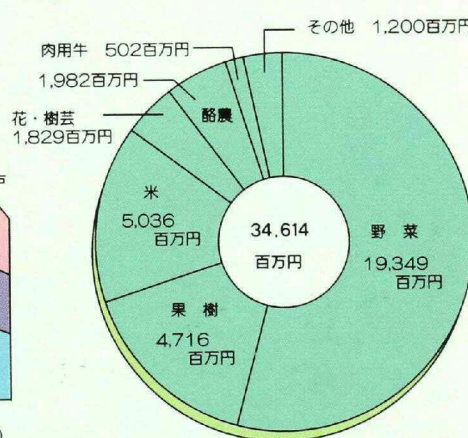
■農家人口と経営耕地面積の推移



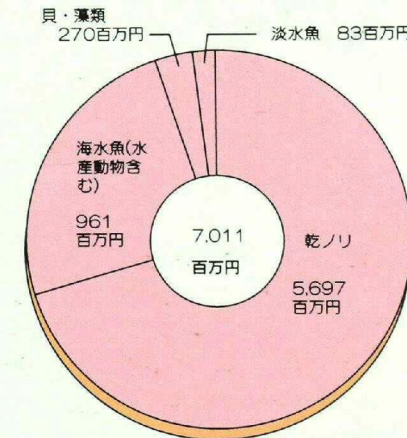
■農家戸数の推移



■農業総生産額 (平成9年度)



■水産業総生産額 (平成9年度)



米の収穫 (秋津町)



のりの採摘